

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年6月6日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年6月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【トレーラー誘導時のつまずき転倒について】 既設多核種除去設備建屋内での高性能容器交換作業において、トレーラーを誘導中に、駐車スペースに常設してある車止めにつまずき、左大腿部を別の車止めにつぶつけて負傷。 その後、構内緊急医療室にて治療実施。	G II
2	【1号機ミスト散水設備の空気圧縮機潤滑油漏えいについて】 1号機ミスト散水設備空気圧縮機(C)の単体試運転を実施した際、給油配管から潤滑油の漏えいを確認。 当該圧縮機を停止し、潤滑油の漏えい停止を確認。 吸着マットによるふき取りを実施し、オイルパンを給油配管下に設置。 今後、漏えい配管の交換および原因調査を実施。	G III
3	【6号機非常用ディーゼル発電機(B)の空気冷却器(A-2)減速機の油にじみについて】 6号機非常用ディーゼル発電機(B)の空気冷却器(A-2)減速機の電動機側軸封部より油にじみを確認。 当該空気冷却器の起動には影響なし。 今後、当該軸封部の点検修理予定。	G III
4	【移動式給水車用の発電機からの燃料漏れについて】 土捨て場東側の移動式給水車用の発電機より燃料漏れを確認。 (設置済のオイルパンににじむ程度) 代替発電機を準備。 今後、原因調査予定。	G III
5	【陸側遮水壁設備(3BLK-H3)冷媒配管からの冷媒漏えいについて】 陸側遮水壁設備(3BLK-H3)冷媒入口配管の継手部より微少漏えいを確認。 出入口弁を閉操作し、空気抜きを行った結果、漏えいが停止。 当該隔離箇所以外の冷媒配管は異常なし。 陸側遮水壁設備の凍結運転は継続。	G III
6	【県町安全協定に基づく報告の不備について】 2016年度・2017年度の報告書に記載されている「5年線量」の集計に誤りがあることが判明。 福島第一事故直後の混乱期を含む前5年は、前歴線量を含まない値で報告していたが、現5年からは前歴線量を含む値で報告をしている。 本来、集計方法を変更した2016年度以降は、変更したことを付して報告すべきだった。 訂正を実施する。	G III